

令和5年度 青潮小学校 学校経営方針として

令和5年4月3日 校長 三角浩司

「61年目(還暦からの再スタート)」という節目を迎えて

改めて新しい青潮小学校づくりができればと思います。子どもたちのためにこれまで大切にしてきたことを継承し、コロナを越えた新しい学校づくりに向けて「チーム青潮」となって頑張っていきましょう。皆さんのお力をお貸しください。どうぞよろしくお願いいたします。

I 青森県や八戸市の学校教育指導の方針を受けて

夢や志の実現に向けて、家庭・地域と連携・協働しながら、命最優先の「いのちの教育」を基底に、「生きる力」を育む学校教育の充実に努めましょう。

II 青潮小学校の教育目標・努力目標



＜教育目標＞ たくましく 心美しく
＜努力目標＞ 考えて行動しよう しっかり学ぼう 毎日運動しよう

＜創立61周年＞

校章の「桜の蕾と花びら」に込められた、子どもたちへの「たくましく 心美しくあれ」の願いを継承し、「生生発展」する未来・夢に向かって、「よく考えて行動し、しっかり学び、よく運動に励む」子どもたちを育てていきましょう。



III 経営方針

(1) 基本理念

子どものために — チーム 青潮 —

「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子ども」の育成を図り、「一人一人の夢の実現を目指し、お互いのよさを認め合い居場所のある、笑顔いっぱいの学校」のために、家庭・地域と連携・協働し、教職員が一丸となって取り組んで いきましょう。

(2) 目指す学校像

「笑顔いっぱいの青潮小」

子どもたち・保護者・地域・教職員が笑顔いっぱいになるために

- ①子どもの笑顔…子どもたちにとって安全安心で、居場所のある学校
学ぶ楽しさ、一生懸命に取り組む楽しさのある学校
- ②保護者の笑顔…信頼関係を大事に、一緒になって子どもを育てる学校
- ③地域の笑顔…情報を共有し、子育てのパートナーとして協働する学校
- ④教職員の笑顔…子どものために一丸となって取り組み、やりがいのある学校
をつくっていきましょう。

(3) 目指す児童像

「桜の心で頑張る子」

青潮小学校のシンボルツリーは桜。子どもたちが「言われて嬉しい言葉」を桜の花びらに見立てて、「桜の言葉」いっぱいにしていこうと始まった「さくら運動」。育てたい子どもたちの姿と「桜の言葉」を関連付けて、「桜の心」として、校歌にあるように「桜の花をしるし」に取り組んでみましょう。

①礼儀・思いやる心

進んで挨拶・返事ができる子
相手のことを思いやる子

※挨拶運動、心のお花畑など

②感謝の心・認め合う心

よさを見つけ認め合う子
進んではたらく子 感謝できる子

※心のお花畑、なかよし班活動
縦割り清掃など

③学び続ける心

進んで学ぶ子 あきらめず学び続ける子

※読書活動、自学ノート、漢字計算テスト、校内研修など

④高め合い、あきらめない心

自分から進んで運動する子 ねばりづよく頑張り抜く子

※パワーアップタイム、外遊び、3分走など

⑤素直な心

約束事をまもる子 素直に謝れる子

※決まり・約束事の徹底、立腰、道徳重点など



(4) 目指す教職員像

「信頼を大事に、一丸となって取り組む教職員」

①子どもとふれあい、子ども理解に努め、子どもや保護者から信頼される教職員

※一人の人間として尊重しあい、声や思いを受け止め、納得できる言葉と行動

※これまでの生活環境との変化もいかし、情報共有・丁寧・親身・笑顔を大事に

②人間性豊かに「師弟同行」できる教職員

※子どもと一緒に汗を流し、一緒に学び、よさを見つけ認め合う

③訊き合い、教え合い、励まし合う教職員

※一人一人のよさや経験を生かし、学級・学年や分掌をこえて助け合う

※一人で抱え込まず、みんなで取り組む

④子どものために一丸となって取り組む教職員

※「全教職員が全児童の担任」の意識で同一方向に共通実践で

※軸足を「子ども」において、粘り強く根負けせずに

(5) 学校目標

「よさを生かし、よく考えて取り組む子どもの育成」

※青潮小学校の子どもたちのよさ、素直さや打ち解けやすさを大切に

※これまで取り組んできた自己肯定感への取組を自己有用感・居場所づくりへ

※昨年度取り組んできた「よく考えて取り組む」をより具体的に

・正しいことをよく考えて行動する子ども

・あきらめず取り組む（活用・思考・判断）子ども

を目指して

「チーム青潮」として、みんなで一つになって

取り組んでいきましょう。

どうぞよろしくお願いします。

